



なし
黒斑病、黒星病、輪紋病、
うどんこ病に有効。



みかん
灰色かび病、貯蔵障害(青かび病、緑かび病、黒腐病、軸腐病、白かび病)に有効。
かんきつ
幹腐病に有効。



おうとう
灰星病に有効。



もも
灰星病、黒星病、
ホモブシス腐敗病に有効。

効きめと使いやすさで選ぶなら!

実力の一一本! 「ベルクートフロアブル」

ミツバチ・マルハナバチに適用濃度で影響なし!
無人航空機でも散布できます。



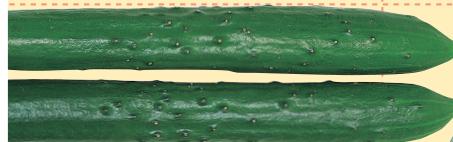
アスパラガス
斑点病、褐斑病に有効。



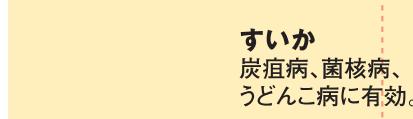
トマト・ミニトマト
灰色かび病、葉かび病に有効。



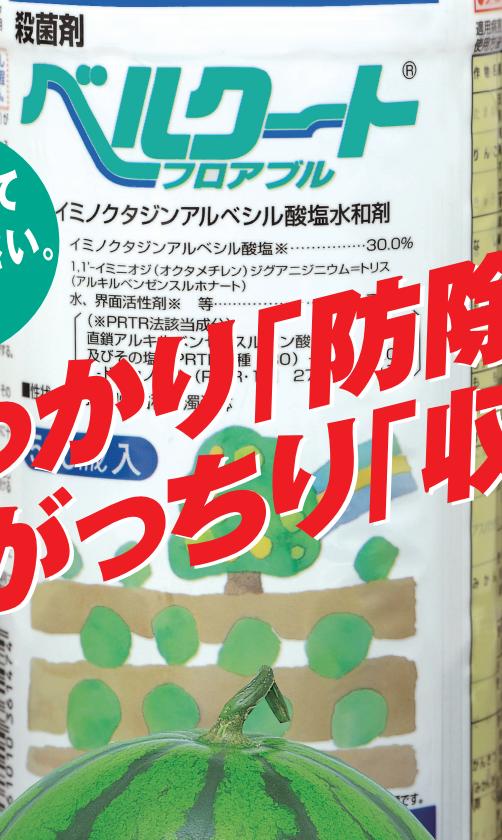
りんご
斑点落葉病、黒星病、褐斑病、
すす点病、すす枯病、輪紋病、
黒点病、うどんこ病に有効。



きゅうり
灰色かび病、うどんこ病、
菌核病に有効。



すいか
炭疽病、菌核病、
うどんこ病に有効。



よく振って
お使い下さい。

しっかりと「防除」
がっちり「収穫」

なす
灰色かび病、うどんこ病、
すすかび病、黒枯病に有効。



にんじん
黒葉枯病、うどんこ病、
斑点病に有効。



たまねぎ
灰色かび病、灰色腐敗病
に有効。



やまのいも
葉渇病、炭疽病に有効。

茶
炭疽病、輪斑病、
新梢枯死症に有効。

■適用病害と使用方法

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数、
本剤及びイミノクタジンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*		使用方法
					本剤	イミノクタジン	
りんご	斑点落葉病、黒星病、輪紋病 褐斑病、すす点病、すす斑病 黒点病、うどんこ病	1,000~1,500	200~700	前日 14日 30日 3日 30日 7日 3回 2回 3回 前日	6回 (開花期以降 散布は3回)	8回 (液剤及び水和剤は 合計6回 (開花期以降は3回) 塗布剤は2回)	散布 無人航空機 による散布
	黄麻病、モニリア病	1,000			5回	5回 (塗布剤は2回 液剤は1回)	
	黒斑病、黒星病 輪紋病、うどんこ病	1,500			3回	3回	
	小粒核果類 (うめ、すももを除く)	灰星病			30日	3回	
	すもも	黒星病、灰色かび病 すす斑病			3日	3回	
	うめ	黒星病、黒星病 輪紋病、うどんこ病			30日	3回 (休眠期は1回)	
	おうとう	灰星病			7日	2回	
	もも	黒星病、黒星病 ホモブシス腐敗病			3回	2回	
	ネクタリン	そうか病 貯蔵病害(軸腐病)			前日	3回	
	みかん	灰色かび病、貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、 黒腐病、白かび病)	1,000~2,000		3回	3回	
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病、貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、 黒腐病、白かび病)	10	4~5	200~700	前日	無人航空機 による散布	散布 無人航空機 による散布
	灰色かび病、貯蔵病害 (青かび病、緑かび病)	20	8~10		3回	3回	
	そうか病、幹腐病 貯蔵病害(軸腐病)	1,000	2回		2回		
	灰色かび病、貯蔵病害 (青かび病、緑かび病、 黒腐病、白かび病)	1,000~2,000	2回		2回		
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病、緑かび病)	10	4~5		2回	2回	
	かんきつ (みかんを除く)	20	8~10		2回	2回	
くり	実炭疽病	1,000	200~700	14日	3回	3回	散布 無人航空機 による散布
キャベツ	菌核病		100~300	28日		3回	
レタス	黒葉枯病、うどんこ病 菌核病		14日	14日		5回 (種子粉衣は1回 無人航空機散布は2回)	
にんじん	斑点病	8	2	100~300	2回	5回	無人航空機 による散布
たまねぎ	小菌核病、灰色かび病 灰色腐敗病	8	1.6~3.2		前日	5回	
らっきょう	灰色かび病	1,000	7日		5回		
かぼちゃ	うどんこ病	1,000~2,000	4回		4回		
すいか	炭疽病、うどんこ病 菌核病、つる枯病	1,000	5回		5回		
メロン	菌核病、うどんこ病、つる枯病	4,000	3回		3回		
にがうり	うどんこ病	2,000	7回		7回		
きゅうり	灰色かび病、うどんこ病、菌核 病、褐斑病、炭疽病、黒星病	2,000	前日		3回		
なす	灰色かび病、うどんこ病 すすかび病、黒枯病、褐紋病	2,000~4,000	3回		3回		
トマト	灰色かび病、葉かび病 うどんこ病、すすかび病	2,000~4,000	2回		2回		
ミニトマト	斑点病	4,000	育苗期(定植前)	5回	10回 (育苗期は5回 本圃では5回)	無人航空機 による散布	
いちご	炭疽病、輪斑病、うどんこ病	1,000		5回	10回 (育苗期は5回 本圃では5回)		
やまのいも	うどんこ病	2,000~4,000		5回	10回 (育苗期は5回 本圃では5回)		
やまのいも(むかご)	灰色かび病、炭疽病、黒斑病	2,000	前日(生育期)	3回	3回	無人航空機 による散布	
茶	葉渋病	12		3	7日		3回
アスパラガス	炭疽病、葉渋病	1,000		100~300	5回 (種いもの処理は1回 無人航空機散布は3回)		5回
りんどう	斑点病、褐斑病	1,000		100~300	植付前	1回	散布 無人航空機 による散布
アイリス	斑点病	8	1.6	収穫開始 7日前※	5回	5回	
チューリップ	褐色斑点病、灰色かび病	1,000	100~300		8回	8回	
りんどう	葉枯病、花腐菌核病	1,000~1,500	300		植付前	1回	
アイリス	青かび病	100	—	発病前~発病初期	8回	10分間球根浸漬 30分間球根浸漬	散布 10分間球根浸漬 30分間球根浸漬
きゅうり	青かび病	200					
なす	温室、ガラス室、 ビニールハウス等 密閉できる場所	灰色かび病、うどんこ病、褐斑病 炭疽病、菌核病、黒星病 灰色かび病、うどんこ病、 すすかび病、黒枯病、褐紋病	150ml/10a	10ℓ/10a	前日	7回 3回 3回	常温煙霧 30分間球根浸漬

※収穫開始後は使用しない。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

※本資料は2025年12月現在の登録内容に基づいています。

△効果・葉害等の注意

- 使用的際は容器をよく振ってから使用してください。
- 用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- イミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 5℃以下では増粘あるいは固化により、容器から取り出しがにくくなることがあるので、50℃以上の湯に容器の肩まで浸し、1時間以上経過した後、室温まで放置し、よく振ってから使用してください。
- おとうように使用する場合、着色期の散布では葉害(着色障害)が生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- りんごの落花直後から落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、かかるないように注意してください。
- 西洋なしの品種ル・レクチエではさび果を生じるので、使用しないでください。
- 缶桃14号などの缶詰用品種のものでは葉に薬斑を生じるので、かかるないように注意してください。
- かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるおそれがあるので、かかるないように注意してください。
- 幼果期のメロン、ばらに対して葉害を生じるおそれがあるので、かかるないように注意してください。
- キャベツを使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると葉害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- やまと(あかご)に使用する場合、種いも(やまと)を浸漬処理してください。
- チューリップに使用する場合、花弁に葉害が生じるおそれがあるので、出蕾期以前に使用してください。
- 虫に対して毒性があるので、桑にかかるないように注意してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を守ってください。
 - ①散布機種の散布基準に従って行ってください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 常温煙霧処理する場合には、次の事項に注意してください。
 - ①専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - ②作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 薬液調製時及び使用の際は、保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに、衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
- 常温煙霧の中はハウス内へ入らないでください。また常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 水産動植物への影響:水産動植物(甲殻類・藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川・養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意して使用してください。浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



最新の登録内容

お得な情報盛りだくさん!
LINE公式アカウント